

**討 論** 本会議最終日、採決の前に議案に対して討論が行われました。

○第56号議案 平成25年度一般会計歳入歳出決算認定について

**原案可決に反対**

村山 正美議員

市税の増加、新築家屋の増による固定資産税増はこれまで進めてきたまちづくりの成果。住んでみたい、住み続けたいまち春日市を、もっと魅力あるまちにするため、将来の財政の見通しが不透明だからという理由で黒字を基金に積み立てるのではなく、教育、子育て、老後の安心の施策のさらなる前進のための財政運営をしてほしい。

**原案可決に賛成**

岩切 幹嘉議員

投資的経費は大きく増加し、平成25年度は総合スポーツセンター建設事業などの大型事業に加え、安全安心のまちづくりや、教育・福祉の充実などのさまざまな事業に取り組んでいる。山積する様々な行政の課題の解消に向けて、予算が的確に執行されている結果が、本決算であると理解できる。

○請願第3号 国会に憲法改正の実現を求める意見書提出の請願について

**採択に反対**

村山 正美議員

戦後70年を迎えようとしているが、日本が世界で信頼され、今日の繁栄を築いてきたのは、戦争で一人も殺さず、殺されもしなかったからであり、現憲法を守る立場である。

**採択に賛成**

松尾 徳晴議員

憲法制定から67年が経過し、この間、我が国をはじめ、国際社会は劇的に変化し、諸外国においては、必要に応じて憲法が改正されている。現行の日本の憲法は、平時を前提とした内容であり、非常時や緊急時に十分な対応ができない。将来予想される首都直下型大地震等、減災や復旧に迅速に対応するため、将来の時代を見据えた憲法の見直し、改正をしていくことが求められていると考える。



竹下 尚志議員

世界は、時代を見据え、適合した憲法を制定あるいは改正するなど、国家を守り、国民の生命、財産の保持に努めている。我が国の憲法は、主権が制限されたもとで定められ、以来、67年間一度も改正されておらず、国内外の状況、情勢は大きく変化している。緊急事態において真価を発揮できるよう、21世紀にふさわしい憲法へと真剣に見直すことが現在の国民に課せられた重要な責務と考える。

○請願第4号 集団的自衛権の行使容認の閣議決定に反対する請願について

○請願第5号 集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を要求する意見書提出を求める請願について

**採択に反対**

竹下 尚志議員

国際情勢を始め、政治的・社会的情勢の変化の中、近年、軍事力の強化や攻撃兵器の破壊力は格段に増し、その範囲は宇宙空間等に及び、攻撃を仕掛けようとする国に対して強力な抑止力になるのは、他国との強い同盟関係である。集団的自衛権行使に対する閣議決定は、他国との同盟関係の強化、我が国の抑止力の向上につながると思う。

**採択に賛成**

村山 正美議員

戦後70年を迎えようとしているが、日本が世界で信頼され、今日の繁栄を築いてきたのは、戦争で一人も殺さず、殺されもしなかったからであり、現憲法を守る立場である。

**議決結果 (賛否が分かれた案件)**

※その他の案件については全員賛成で可決されました。

平成26年第3回(9月)定例会 名	創政会		公明党				近未来 21		衆政会		翔春会		春風会		会派に所属 しない議員		議決結果			
	與 國 洋	竹 下 尚 志	柴 田 英 明	坂 本 靖 男	米 丸 貴 浩	岩 切 幹 嘉	前 田 俊 雄	野 口 明 美	高 橋 裕 子	武 末 哲 治	榊 朋 之	五 藤 源 寿	塚 本 良 治	中 原 智 昭	迫 賢 二	松 尾 徳 晴		白 水 勝 己	村 山 正 美	近 藤 幸 恵
国会に憲法改正の実現を求める意見書提出の請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	採 択
集団的自衛権の行使容認の閣議決定に反対する請願について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	不採択
集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を要求する意見書提出を求める請願について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	不採択	
平成25年度春日市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
国会に憲法改正の発議を求める意見書について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※金堂清之議員(近未来21)は議長職のため、表決権はありません。

(○賛成 ●反対)